

リン資源リサイクル推進協議会 平成 20 年度事業報告書

リンは、植物や動物の生体を構成する主要な元素であるとともに、生命活動の維持に必要なエネルギーの獲得に関する重要な機能を担っているなど、欠くことのできない必須元素であり、化学肥料、工業製品、食品添加物等に、大量にかつ幅広く利用されている。

一方、原料となるリン鉱石は限られた国に偏在しており、このままリンの需要量が増加傾向で推移すれば、今世紀の後半には経済的に採掘可能なリン鉱石が枯渇するというようなシナリオも発表されている。また、近年の世界的な食料需要の増加やバイオ燃料生産等によるリン酸質肥料の需要増大を一因とするリン鉱石価格の急騰等、国内で消費するリンの全量を海外からの輸入に頼っているわが国においては、資源の安定供給面からも不安材料となっている。

このような状況に対処するため、わが国は国内で使用したリンの回収・再利用や、未利用リン資源の利用技術を開発する必要性に迫られている。

リン資源リサイクル推進協議会は、このような背景のもと、都市下水、含リン廃棄物、製鋼スラグ等の未利用リン資源からのリン回収技術や農業及び工業分野における省リン技術の開発促進、工業用リン酸や黄リン製造技術の革新等の技術の検討を行い、リン資源の回収とリサイクルに関する事業化の促進を行うとともに、リンの回収と再利用を円滑に進めるための事業者間連携や再生リンの利用を促進するための施策の提言等について、産学官の幅広い関係者が一体となって、行政の縦割りや民間企業間の壁を越えたオールジャパンのレベルで戦略的かつ総合的な検討を行い、もってリン資源に関する持続可能な循環型社会の構築と地球環境保全に寄与することを目的として、平成 20 年 12 月 18 日に設立した。

平成 20 年度においては、初年度として協議会を設立するとともに、関係機関との情報交換や連携を図りながら、関係事業者のマッチングや回収から利用までのリン資源リサイクルの実証等に向けた、協議会における検討テーマを主とした検討を行った。

具体的な事業としては、「技術調査事業」、「普及啓発事業」、「業務支援事業」の各事業を実施した。

平成 20 年度事業の実施概要は、以下のとおりである。

1. 会員の状況

平成 20 年度における設立時及び期末の会員数は、次のとおりである。

会員区分	平成 20 年 12 月 18 日現在 (設立総会)	平成 21 年 3 月 31 日現在 (期末)	増減
個人会員	36	46	10
団体・法人会員	41	47	6
合計	77	93	16

2. 会務の運営

総会及び幹事会等の開催状況は、次のとおりである。

(1) 総会 (1回開催)

1) 設立総会

開催日：平成20年12月18日(木) 15:20～16:00

場 所：学士会館 210号会議室(東京都千代田区)

出席者：関係省庁来賓(農林水産省、国土交通省、経済産業省、環境省)、会員、取材
合計126名(来賓24名、会員91名(事務局含む)、取材11名(冒頭のみ))

内 容：規約、年会費、役員承認

(2) 幹事会 (1回開催)

1) 第1回幹事会

開催日：平成21年1月29日(木) 13:30～15:45

場 所：日本肥料アンモニア協会 会議室(東京都中央区)

出席者：役員(会長、副会長、幹事、監事)、事務局、オブザーバー(農林水産省、国土交通省、経済産業省)

合計20名(本人8名、委任2名、代理1名、オブザーバー4名、随行2名、事務局3名)

内 容：協議会の運営方針(活動計画、予算)、関係機関との連携、規約の運用、その他について審議

(3) 打合せ (3回開催)

1) 第1回幹事会に関する打合せ

開催日：平成21年1月26日(月) 11:00～12:30

場 所：日本肥料アンモニア協会(東京都中央区)

出席者：会長、副会長、事務局

内 容：第1回幹事会について

2) 協議会設立事前打合せ

協議会設立に関する打合せ

開催日：平成20年10月27日(月)

場 所：社団法人日本有機資源協会(東京都中央区)

内 容：協議会の設立、事務局について

協議会設立に関する関係省庁打合せ

開催日：平成20年11月6日(木)

場 所：農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

内 容：協議会の設立について

3. 事業活動

(1) 技術調査事業

本事業は、リン資源リサイクルに関する技術や関係機関の活動状況等の情報収集及び関係機関等との連携等により調査等を行うものであり、平成20年度は以下の技術調査事業を実施した。

1) NEDO調査事業との連携

NEDO調査事業との意見交換会

開催日：平成21年2月17日(火) 13:45~16:25

場所：八口一貸会議室 水道橋1(東京都千代田区)

出席者：合計37名(NEDO3名(委託事業者を含む)、オブザーバー2名(農林水産省、経済産業省)、会員30名、事務局2名)

内容：NEDO調査事業の概要説明、事前アンケート結果報告、意見交換、その他

NEDO調査事業との連携に係るアンケート調査

実施日：平成21年2月2日(月)~平成21年2月12日(木)

対象：会員(配布：93会員、回答40会員(個人14会員、団体・法人26会員))

内容：リン資源循環技術の普及可能性について

2) 下水・下水汚泥からのリン回収・活用に関する検討会との連携

第1回 下水・下水汚泥からのリン回収・活用に関する検討会の傍聴

開催日：平成21年1月20日(火) 9:30~12:00

場所：(財)下水道新技術推進機構 会議室(東京都新宿区)

出席者：会員(一部)、事務局

内容：検討会設立趣旨、リンを取り巻く現況、リン回収及びリン活用に関する話題提供

第2回 下水・下水汚泥からのリン回収・活用に関する検討会の傍聴

開催日：平成21年3月3日(火) 14:00~17:00

場所：(財)下水道新技術推進機構 会議室(東京都新宿区)

出席者：会員(一部)、事務局

内容：リン回収及びリン活用に関する話題提供、リン回収・活用への関心について、議論のための論点の整理

3) 水の安全保障戦略機構との連携

「チーム水・日本」へのチーム登録、第1回執行審議会(設立総会)及び設立準備会への出席とチームの説明

開催日：平成21年1月30日(金) 13:00~17:00

場所：中央大学理工学部後楽園キャンパス3号館10階大会議室(東京都文京区)

出席者：事務局

内容：機構設立、専門委員会及び活動計画の承認、チーム水・日本の形成状況、登録チームの紹介、その他

第1回基本戦略委員会への出席

開催日：平成21年3月11日（水）13:00～15:20

場 所：中央大学工学部後楽園キャンパス3号館10階大会議室（東京都文京区）

出席者：事務局

内 容：チーム活動状況報告、基本戦略委員会の活動方針、その他

（2）普及啓発事業

本事業は、リン資源リサイクル推進のための情報提供や情報交換等の普及啓発活動を行うものであり、平成20年度は以下の普及啓発事業を実施した。

1）設立記念講演会

開催日：平成20年12月18日（木）13:00～15:20

場 所：学士会館 210号会議室（東京都千代田区）

出席者：関係省庁来賓（農林水産省、国土交通省、経済産業省、環境省）会員、一般、取材

合計197名（来賓24名、会員91名（事務局含む）、一般71名、取材11名）

内 容：講演、パネルディスカッションによる意見交換

2）協議会メールニュースの配信

本協議会活動、リン資源リサイクルに係る関係省庁の施策情報、関係機関の活動等について情報提供を行った。

平成20年度に配信したメールニュースの概要は次のとおりである。

Vol.1 平成20年12月26日（金）

内 容：設立総会の御礼、事務連絡

Vol.2 平成20年12月26日（金）

内 容：情報提供（農水省の委託プロジェクト研究のご案内）

Vol.3 平成20年12月26日（金）

内 容：情報提供（「未利用資源からのリン、カリウムの省エネルギー型回収技術開発の先導調査」に係る委託先の決定について）

Vol.4 平成21年1月9日（金）

内 容：協議会ホームページ案内（会員名簿掲載）、幹事会の開催について、事務連絡

Vol.5 平成21年1月26日（月）

内 容：会員数の連絡、情報提供（国土交通省「下水・下水汚泥からのリン回収・活用に
関する検討会」について、「農地土壌と地球温暖化対策に関する国際シンポジウム」
のご案内）、情報募集

Vol.6 平成 21 年 1 月 29 日 (木)

内 容 : NEDO 調査事業との意見交換会について

Vol.7 平成 21 年 2 月 2 日 (月)

内 容 : NEDO 調査事業との連携に係るアンケート調査のお願い

Vol.8 平成 21 年 2 月 4 日 (水)

内 容 : 関係省庁からの情報提供(農林水産省:「委託プロジェクト研究公募の締切迫る!」、国土交通省:「第 1 回 下水・下水汚泥からのリン回収・活用に関する検討会」の資料掲載、環境省:「平成 21 年度循環型社会形成推進科学研究費補助金の公募」、農林水産省:「農地土壌と地球温暖化対策に関する国際シンポジウム」のご案内)、NEDO 調査事業との意見交換会について

Vol.9 平成 21 年 2 月 10 日 (火)

内 容 : NEDO 調査事業との連携に係るアンケート調査のお願いについて(再)、情報提供(中国の輸出関税の動向について)

Vol.10 平成 21 年 2 月 12 日 (木)

内 容 : 情報提供(経済産業省の平成 21 年度地域イノベーション創出研究開発事業の公募について、豚舎汚水からリン回収について(バイオマス ML からの情報))、会員数について、アンケート調査のお礼

3) ホームページの開設と運営

協議機会設立に向けて、平成 20 年 12 月 4 日に協議会事務局である(社)日本有機資源協会ホームページ内に、協議会専用ページを開設し、総会及び設立記念講演会の案内、入会案内、協議会案内、会員名簿、行事・イベント等の、本協議会活動の広報を主体としたホームページの運営を行った。

4) その他

報道関係者、一般(協議会概要、入会手続き等)等からの問い合わせへの対応を実施した。平成 20 年度の主な対応状況は次のとおりである。

平成 21 年 1 月 7 日 (水)

問合者:(株)富士経済

形 態:来訪(事務局)

内 容:協議会について(設立趣旨、活動概要、会員、等)

平成 21 年 2 月 10 日 (火)

問合者:(株)野村総合研究所

形 態:来訪(事務局)

内 容:協議会について(設立趣旨、活動概要、会員、等)講演会資料の購入

平成 21 年 2 月 20 日（金）

問合者：（株）矢野経済研究所

形 態：来訪（事務局）

内 容：協議会について（設立趣旨、活動概要、会員、等）講演会資料の購入

平成 21 年 3 月 13 日（金）

問合者：（有）ラーニングビジョン（テレビ番組制作会社）

形 態：来訪（事務局）

内 容：協議会について（設立趣旨、活動概要、会員、等）

平成 21 年 3 月 17 日（火）

問合者：（株）クラレ

形 態：来訪（事務局）

内 容：協議会について（設立趣旨、活動概要、会員、入会手続き等）

（４）業務支援事業

本事業は、リン資源リサイクルに関する事業や研究等に関連する会員等からの要請、要望あるいは問合せ等を受けて、その業務を合理的かつ円滑に執行するための支援を行うものであり、平成 20 年度は、以下の業務支援事業を実施した。

１）会員活動の支援

会員からの要請を受けて、情報及び資料提供、面談指導、役職員等の派遣等を実施した。

ひろしま環境ビジネス研究会に関する広島県との打合せ

開催日：平成 21 年 3 月 26 日（木）11:00～12:15

場 所：広島県庁（広島県広島市）

出席者：広島県 商工労働局 産業振興部 新産業課

リン資源リサイクル推進協議会 会員、事務局

内 容：ひろしま環境ビジネス研究会の研究テーマに対する県の助成制度のヒアリング及び協議会の支援方法等に関する打合せ

２）その他

会員等からの問い合わせへの対応を実施した。平成 20 年度の主な対応状況は次のとおりである。

平成 21 年 2 月 9 日（月）

問合者：リン資源リサイクル推進協議会 会員（個人会員）

形 態：メール（事務局宛）

内 容：中国の輸出関税の動向について（回答概要については、協議会メールニュース vol.9 にて会員に配信）